

東北支部 B 講座郡山講座が開催されました

去る1月19日(日)に郡山市労働福祉会館において、令和6年度東北支部B講座郡山講座が開催されましたので、その模様をお伝えいたします。



特別講演1 『スポーツ障害に対するエコー下 Fascia ハイドロリリース』

仙台たなか整形外科スポーツクリニック院長・田中稔先生に、スポーツ障害、特に肩関節に対するエコー下 Fascia ハイドロリリースについてご講演をいただきました。



わが国では「筋膜リリース」が独り歩きしてしまった感がありますが、筋膜は Fascia の一部に過ぎず、Fascia はネットワーク構造を持つ臓器・器官であり、ネットワーク機能を有する目視可能な線維構成体と定義された構造物です(2018年3月のニューヨーク大学

の研究により「人体で最大で、新しい「器官」の発見?」という発表がなされ、実はこの器官=間質がその後「Fascia」と名付けられた。

整形外科とくに肩関節の専門医による講演で、タイトルだけ見ると鍼灸とどう関わることが分かりにくいですが、ハイドロリリースとは、エコー画像下で、障害部位に生理食塩水を注入し、Fascia の筋の癒着と肥厚を剥離させることで、疼痛改善と可動域改善を図る技術です。ハイドロリリースは、①精確なターゲットへのアプローチ、②最小限の侵襲性、③筋膜の柔軟性の改善と痛みの軽減、④即効性と持続性：可動域や痛みの軽減の即効性が最大の利点です。

「注射器でできることは、鍼でもできる」という田中先生という言葉は鍼灸師にとっては心強いアドバイスであり、Fascia が関与するスポーツ障害に対して、鍼灸治療においても非常に興味深く、今後の治療法にも応用できると感じる講演でした。(座長：小沢 薫)

特別講演2 『TST てい鍼術による自律神経調整とメンタルヘルスケア』、特別講演3 『ST てい鍼術を用いた治療実技公開』

船水隆広先生が提唱された TST (Takahiro Style Technique) について、主に刺激に敏感な方やうつ患者に用いるてい鍼術の理論と実技を学びました。



理論では、鍔鍼で気を調整する上で気のイメージを持つことが重要であることを理解しました。気を水と解釈することや漢字の成り立ち、言葉の語源、イメージ図により気についての抽象的なイメージがより具体的なものとなり、気について多くの気づきを得ることが出来ました。

実技では、鍔鍼を用いて気を注いで気を流す実際をご紹介いただき、顔面・頭頸部への施術を聴講しました。鍔鍼の操作は経絡上の皮膚のみを対象とするだけでなく、筋膜、頭皮、環状縫合を指標に刺激を与えることを学びました。一方で鍼の操作や技術に目が行きがちですが、患者さんへ触れる際の配慮や鍔鍼を傷つけないように大切に扱うことなど施術者として大切な心得も再確認いたしました。

今回の講演を受けて、刺激に敏感な方やうつ患者に鍔鍼という選択肢を持って臨床に臨みたいと思いました。(座長：佐藤 駿)

～ 支部長だより ～

『秋田大学に行ってきました』

昨年5月のNHKスペシャル『東洋医学を科学する』で、秋田大学附属病院高度救急救命センター教授の中永土師明(なかえい はじめ)先生が、救急救命の現場でパイオネックスを使用しているところが放映されました。中永先生は番組の中で「西洋医学だけで治療できれば、他のことはあえてする必要はないんですけれども、実際の現場では、なかなかそうはいかない患者さんが多くて、非常に困っている人が多いです。西洋医学と東洋医学、それぞれの治療の利点を生かして、患者さんを早く治して、健康の増進に役立てるというのが、非常にいいと思います」と話されていました。

この番組をご覧になられた方も多い事でしょう。いつか中永先生に直接お会いしてご挨拶したいと思っておりましたが、このたびセイリンさんが共催で立ち上げられた『秋田大学鍼灸研究会』にご縁があり、参加することができました。

1月25日土曜日、昨年の宮城大会の抄録集の残部をすべての参加者へのお土産として持参し、前支部長の中沢良平先生と三瓶で第2回となる秋田大学鍼灸研究会へ参加しました。第1回目から会津医療センター教授の鈴木雅雄先生が講義を担当されていました。第2回となるこの日は、秋田大学の救急救命科、内科、総合診療科、麻酔科、乳腺外科、秋田市内の開業医、薬剤師、地元秋田県の鍼灸師など約30名程度が参加されました。この日は3つの班分けをして毫鍼による刺鍼と鍼通電班、セラミック温灸器を使った温灸班、パイオネックスを使った円皮鍼班に分かれ、参加者である医師や薬剤師の皆様に体験していただきました。



毫鍼班は中沢先生(写真)、温灸班は地元鍼灸師・東北支部会員の高橋純孝先生、円皮鍼は三瓶がファシリテーターを担当し、見て聴くだけではなく、実際に刺して打っての体験型の研修となり多数の質疑が飛び賑やかで楽しい会となりました。

～ 盛岡講座に中永教授が登壇決定！ ～

なお、当支部では毎年夏に盛岡講座を開催していますが、このご縁で中永先生が盛岡講座にご登壇いただけることになりました。日程や詳しい内容は未定ですが、ぜひご期待ください。また第74回学術大会名古屋大会にもシンポジストとして登壇されるということです。これからの東北の鍼灸の発展に、心強いお味方が現れてとてもうれしいです。

(支部長：三瓶真一)